

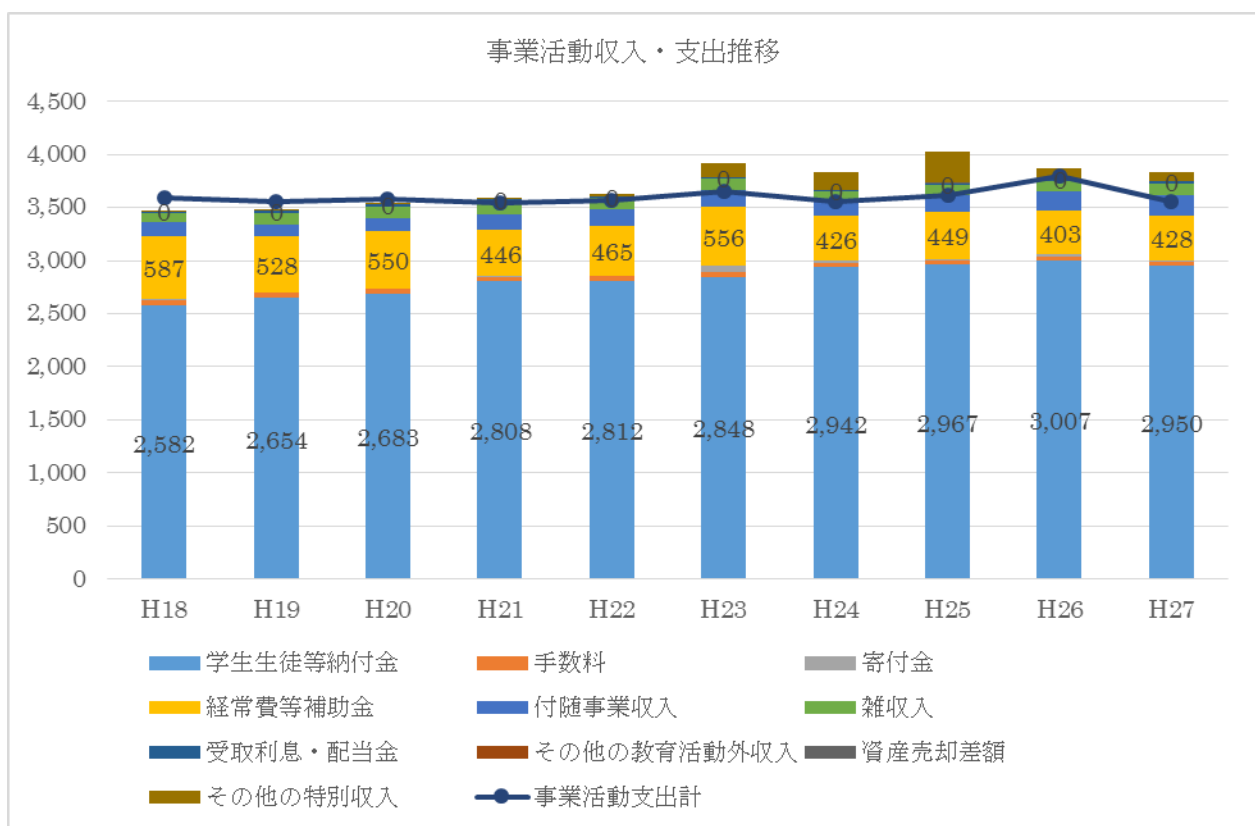
#### 4-(2)-① 平成27年度 財務の概要

##### 1) 概況

平成27年度決算では事業活動収入が3,831百万円となり、昨年度の3,871百万円から40百万円の減少となりました。これは、開学以来増加を続けていた学生生徒等納付金が退学者の増加により減少したことによるものです。

一方、事業活動支出は3,555百万円で、昨年度の3,801百万円から246百万円減少しております。これは前年度まで施設・設備の大規模な改修を行っていたことと、今年度支出の厳格化により支出を抑制できたことによるものです。

基本金組入前当年度収支差額はプラス276百万円で、昨年に引き続き7年連続プラスとなっています。



##### 2) 資金収支計算書

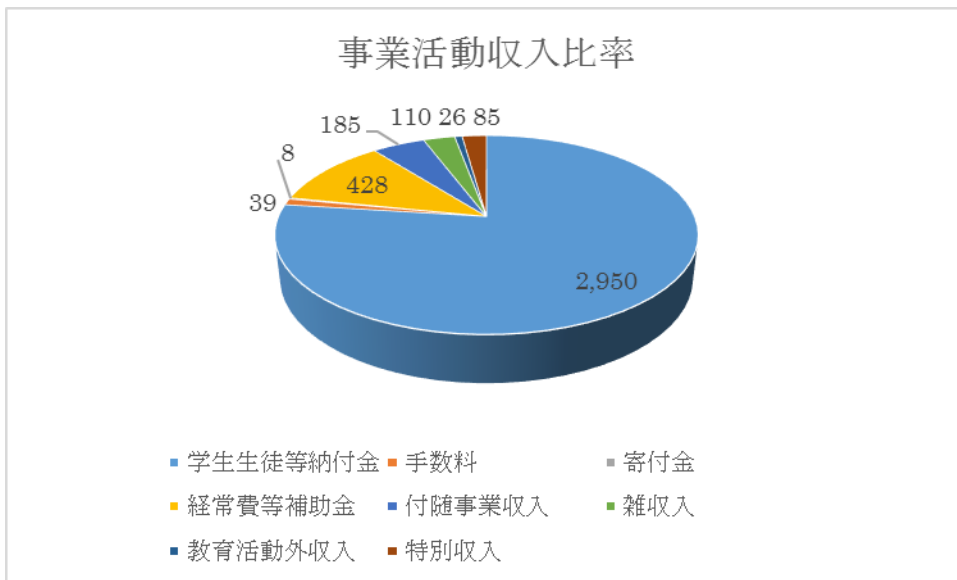
収入の部、支出の部合計は予算額より202百万円増の4,964百万円となっています。

収入の部で前受金収入が予算対比で増加していることが原因です。結果として、翌年度繰越支払資金が予算額より457百万円増となっています。

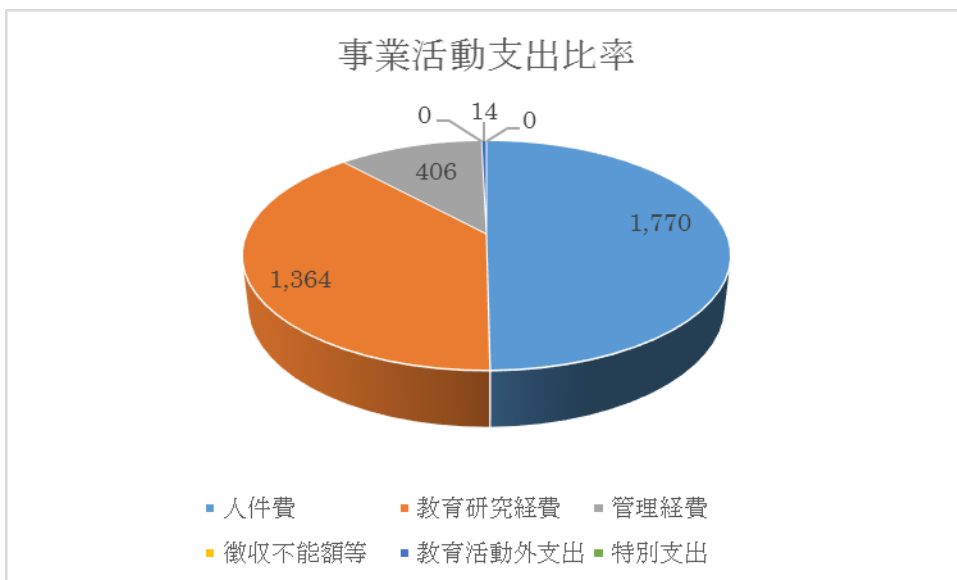
支出の部では、支出の厳格化および環境整備の工期調整に係る引渡し年度の変更等により、予算対比で減少しています。東日本大震災の学費減免措置に係る奨学費支出が7百万円、耐震改修工事など施設・設備関係支出は400百万円となりました。

### 3) 事業活動収支計算書

収入の主となる授業料収入は、入学者はほぼ経年と同水準を維持したものの退学者の増加により減少し、平成27年度は2,950百万円となりました。



基本金組入前当年度収支差額は予算に対して増加し、276百万円となりました。これは支出の厳格化により事業活動支出を抑制できたことが原因です。結果として基本金組入前減価償却前収支差額(キャッシュフロー)は880百万円となっています。



#### 4) 貸借対照表

負債の部は長期借入金の返済が順調に進んでおります。教育用機器のリース未払いについても順調に支払いが進んでおり、前受金を除いた負債率10.3%と、昨年度より1.5ポイント減少しています。

資産の部は建物、構築物、機器備品等の減価償却が進んだこと等により、有形固定資産が 201 百万円減少しました。一方、特定資産の順調な組み入れ、現預金等の流動資産の増加により、資産の部合計は昨年度より 115 百万円増の 16,248 百万円となっています。